



令和7年度 臨時号

祥豊だより



TEL 075-691-2486

じどう かつやく がっこう
ひとりひとりの児童が活躍する学校づくり

がっこう ぼくしや ちいさき じどう みと ここが がっこう めざす
～ 学校・保護者・地域が児童を認める・心つながる学校を目指して ～

「心」も「環境」も

京都“1”美しい学校

令和8年2月20日

京都市立祥豊小学校

校長 森口 光輔



積極的に
配信中♪

令和7年度 学校教育目標

「ひとりひとりの児童が活躍する学校づくり」

～ 学校・保護者・地域が児童を認める・心つながる学校を目指して ～

京都“1”美しい学校

《目指すこども像》

○やってみる子

○自分も相手も大切にする子

○思いや考えを伝え合う子



令和7年12月に実施いたしました第2回学校評価アンケートの結果をご報告させていただきます。アンケートでは、学校として大切にしていることや保護者の皆様とともに取り組んでいきたいと考えていることについて、振り返っていただきました。前回の結果との比較や課題への今後の取組についてお伝えさせていただきます。（前回；7月、今回；12月の結果より、【そう思う】＋【だいたいそう思う】の割合の結果で表示しています。）

児童	前回		今回	保護者	前回		今回
学校は楽しいですか。	94.6%	➡	94.3%	1.お子さんは、楽しく学校生活を送っていますか。	95.7%	➡	96.3%

今回の学校評価では、児童の94%以上が「学校は楽しい」と回答し、保護者の皆様からも96%以上が「子どもは楽しく学校生活を送っている」とお答えいただきました。児童・保護者双方から高い評価をいただいていることは、日々の教育活動が子どもたちの安心と成長につながっている証だと受け止めています。さらに、日々の授業づくりや友達関係のサポート、教職員の丁寧な関わり、行事や活動の工夫など、継続・発展させ、「学校が児童にとって安心できる場所であり続ける」「児童が『明日も学校に行きたい』と思える」環境づくりを大切にしていまいります。

○やってみる子

児童	前回		今回	保護者	前回		今回
授業はよく分かりますか。	96.7%	➡	95.6%	2. お子さんは、授業がよく分かったと言っていますか。	85.6%	➡	83.8%
授業では、先生や友達の話や考えを最後まで聞くことができますか。	95.5%	➡	95.0%	3. ご家庭で、授業中、先生や友達の話をよく聞くように声掛けをされていますか。	93.6%	➡	91.9%
毎日、自分から進んで宿題や家庭学習をしていますか。	86.2%	➡	84.9%	4. ご家庭で宿題や家庭学習が定着するように働きかけをされていますか。	95.2%	➡	88.9%
自分から進んで「おはよう」「さようなら」「ありがとう」などのあいさつをしていますか。	91.9%	➡	88.0%	5. ご家庭で、お子さんが進んで挨拶ができるように声掛けをされていますか。	94.1%	➡	91.9%
学校でも家でも、よく本を読んでいますか。	70.9%	➡	56.5%	6. ご家庭で、お子さんが読書をするような環境づくりをされていますか。	52.9%	➡	50.7%
運動や外遊びをしていますか。	82.6%	➡	83.3%	7. ご家庭で、お子さんが適度に運動や外遊びをするように働きかけをされていますか。	86.2%	➡	83.1%

○自分も相手も大切にする子

児童	前回		今回	保護者	前回		今回
学校や学級のきまりを守ることができていますか。	95.8%	➡	94.6%	8. ご家庭で、お子さんに学校のきまりや家での約束を守るような話をされていますか。	97.9%	➡	97.8%
友だちや周りの人を大切にしていますか。	97.3%	➡	98.7%	9. ご家庭で、お子さんに、友だちや周りの人を大切にしよう働きかけをされていますか。	99.5%	➡	98.5%
あなたは、友だちや周りの人から大切にされていますか。	90.1%	➡	93.7%	10. お子さんは、友だちや周りの人から大切にされていますか。	96.8%	➡	96.3%
自分のよいところや得意なところをのぼそうとしていますか。	93.1%	➡	94.3%	11. お子さんが自分のよいところや得意なところを伸ばせるように励ましていますか。	95.7%	➡	97.8%
安全に気をつけて遊んだり、登下校をしたりしていますか。	97.6%	➡	97.2%	12. ご家庭で、お子さんに安全に気をつけて遊んだり、登下校したりできるように声掛けをされていますか。	99.5%	➡	100.0%
スマートフォンやタブレットなどを使うときのルールや約束を守っていますか。	93.7%	➡	94.6%	13. ご家庭では、スマートフォンやタブレット等の情報端末を使う際のルールを定め、お子さんは守ることができていますか。	72.9%	➡	70.6%

○思いや考えを伝え合う子

児童	前回		今回	保護者	前回		今回
授業では、自分の思いや考えを伝えていますか。	82.3%	➡	74.8%	14. お子さんが、授業中、自分の思いや考えを伝えていると思われますか。	68.6%	➡	59.6%

○児童が主体的に活動する学校

児童	前回		今回	保護者	前回		今回
学校や家で自分の役割(委員会活動や当番活動)やお手伝いをしっかりとしていますか。	91.6%	➡	94.0%	15. お子さんに家の役割(手伝い)を決め、実行させていますか。	62.2%	➡	66.2%
学校や家での生活をよりよくするために、係活動や委員会活動を自分から進んでいますか。	89.8%	➡	86.1%				

○凡事徹底(ルールをしっかりと守ることが)できる学校

児童	前回		今回	保護者	前回		今回
「早寝・早起き・朝ごはん」など、規則正しい生活ができていますか。	87.4%	➡	87.7%	16. お子さんに「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣が身に付くような働きかけをされていますか。	92.0%	➡	91.9%
学習の準備や整理整頓ができていますか。	85.9%	➡	83.6%	17. ご家庭で、お子さんがじっくり学習できる環境を整えたり、学習の準備や整理整頓ができるように声掛けをされていますか。	85.1%	➡	82.4%

○積極的に発信する学校

児童	前回		今回	保護者	前回		今回
				18. 学校は、ホームページや学校だより、学年・学級のおたよりなどでいろいろな取組を保護者の方に伝えていていますか。	93.6%	➡	89.0%
家で学校や学年、学級のことについてよく話をしますか。	82.6%	➡	77.3%	19. お子さんと学校や学年、学級のことについてよく話をされていますか。	86.7%	➡	86.8%

○積極的に承認する学校

児童	前回		今回	保護者	前回		今回
先生や学校にいる大人は、あなたに関わってくれていますか。	95.8%	➡	95.9%	20. 学年担任をはじめとする教職員は、お子さんに丁寧に関わっていると感じられますか。	94.1%	➡	93.4%
先生や学校にいる大人は、あなたのがんばりを認めてくれていると感じていますか。	95.5%	➡	94.0%	21. 学年担任をはじめとする教職員は、お子さんのがんばりを認めてくれていると感じられますか。	92.6%	➡	94.9%

○新たに学ぶ教職員 ○改善に努める教職員

児童	前回		今回	保護者	前回		今回
				22. 学校は、よりよい祥豊小になるよう、多様性を認め、様々な取組に臨んでいたり、改善に努めたりしていると感じられますか。	91.5%	➡	89.0%
				23. 学校は、家庭や地域と連携して、「地域ぐるみ」の教育を推進していますか。	87.8%	➡	87.5%

1. 主な成果

① お子さんが「大切にされている」と感じていること

児童の回答では、「友だちや周囲の人から大切にされている」「先生が関わってくれている」といった項目が前回より向上しました。また、本校として取り組んでいる「思いやりのある言葉がけ」や「一人一人の頑張りを認める関わり」が実を結んでいると考えています。

② よいところ・得意なところを伸ばそうとする姿勢

児童・保護者ともに前回よりも割合が上昇しました。学習や係活動の中で、自分の力を生かそうとする姿が増えてきています。

③ 安全に関する意識の高さ

登下校や遊びの場面で「安全に気をつけている」という回答は、引き続き非常に高い割合を示しました。地域の方々、保護者の皆様の見守りに支えられていることが大きいと思われれます。ありがとうございます。

④ 家庭での役割(手伝い)に取り組む様子が向上

お手伝いや家庭での役割についての評価が、児童・保護者ともに前回よりも割合が高くなりました。主体的に行動できる姿が少しずつ広がってきていると思われれます。

2. 主な課題と対策

① 読書の習慣の定着・継続

「学校でも家でも本を読んでいるか」という質問で、児童の割合が大きく低下しました。読書量の減少が課題として浮かび上がっています。年2回の読書週間での取組(図書委員による活動や読み聞かせ)、学習の時間を有効に活用した学校図書館での授業、図書館司書による指導や環境整備、学校ボランティアの皆様のサポートなど、様々な取組を行っていますが、さらに、計画的な読書の時間の捻出、図書委員会のさらなる活性化、教職員の意図的な働きかけなど行っていく必要があると考えます。また、お家でも読書の習慣が定着できるように、家庭向けの短時間でできる読み聞かせや推薦図書の紹介など、学校と家庭が連携して取り組むことができるようにしていきたいと考えます。

② 自分の考えを伝えることの重要性

児童・保護者ともに割合が低下しました。学習の中で、話し合う場面の設定や方法などを学年ごとに系統立てて行っていますが、自信がないどうしても慎重になってしまう姿も見られます。授業の中で、「自分の考えをもつ→ペアで伝える→全体で共有する」活動を常に意図的に取り入れたり、話型や意見の言い方などの「ひな型」を示して、安心して発言できる環境を整えたり、ふり返りの中で「伝えたいこと」をノートにまとめたりなど、「分かる」だけでなく「伝える」力を育てていくことができるように、授業の在り方を工夫していきたいと考えます。

③ 学校からの情報の発信

学校の取組を「十分伝わっている」と感じる保護者の方が減少しました。学年の様子をホームページ等でさらに積極的に伝えることができるよう、定期的に発信をしたり、写真の数や文字数などを工夫して、「見やすく、分かりやすい」情報を提供したりするなど、伝え方や頻度を見直していきたいと考えます。また、授業参観の機会を増やしたり、学校運営協議会だよりを発信したりと、情報発信の場を増やしています。学年の様子と合わせて、ぜひご覧になってください。それらが家で学校のことを話す機会の減少の解消にもつながるのではないかと考えます。

学校でも引き続き、子どもが話したくなる成功体験を増やしたり、日々の出来事を言語化する習慣をつくるなど安心して話せる学級づくりを心がけたりして、学校全体で共有してまいります。

児童会まつり



読書週間の読み聞かせ



研究授業・事後検討会



地域との関わり



学校ボランティアの方の協力



話し合い活動



今回のアンケートは、児童の姿をより深く知り、学校の教育活動をよりよくしていくための大切な機会となりました。また、保護者の皆様の記述欄では、授業時間や学校行事、2ndGIGA端末の活用、授業の進め方の課題についてなど、たくさんのご意見・ご感想をいただきました。ご協力に感謝申し上げます。いただいたご意見やデータを真摯に受けとめ、学校と家庭が一緒にお子さんを支えていけるよう、今後も改善と工夫を重ね、これからも、ひとりひとりの児童が活躍する学校づくりを目指して、保護者の皆様、地域の皆様から一層信頼を得られるように努めてまいります。今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。